

湿原と草原の植物

戦場ヶ原と小田代原は、希少な種を含む 100 種類以上の湿原植物と、草原植物の生育地となっています。戦場ヶ原はホザキシモツケでよく知られています。ホザキシモツケはシモツケ属の植物で、夏に花を咲かせ、本州では奥日光と、長野県の霧ヶ峰だけにしか自生しません。戦場ヶ原では 6 月、湿地に生えるワタスゲの群落が見られ、小田代原は、ノアザミや 7 月に白い花を咲かせるイブキトラノオなど色とりどりの草原植物が生育しています。

奥日光では、同じ公園の中で湿地と草原の両方の景観を楽しむ、貴重な機会を得られるでしょう。